



### 3 11 愛情詰まった卒業記念品 新中親父の会が紅白餅<sup>もち</sup>づくりに挑戦

中学生の父でつくる親父の会が、翌々日の卒業式で卒業生に配る紅白餅づくりに挑戦しました。

午後6時からの本作業には、会員や教員31人が中学校の調理室に集まりました。親父たちが不慣れな手つきで丸めた餅は、直径8<sup>センチ</sup>、重さ180<sup>グラム</sup>の大きなもの。形が不ぞろいだったり、色むらがあつたりするの、手作りならではの良さです。出来上がった紅白餅は、「一生勉強、一生感動、一生青春」と書かれたメッセージカードと一緒に、化粧箱に丁寧に納められました。

高橋恵司会長は「親父の会で紅白餅を配るのは始めてです。卒業生に少しでも喜んでもらえたら嬉しいです」と話していました。

### 3 7 転ばぬ先の杖 新入生に防犯ブザー寄贈

滝川市防犯協会の会員3人が、教育長室を訪れ、新十津川小学校の新入生のために、防犯ブザー55個を寄贈しました。

協会副会長の寺田隆政さんは、熊田教育長に防犯ブザーを手渡しながら「ランドセルに付けてほしいです。こういった物は、実際には使われずに済むのが一番です」と話していました。

防犯ブザーは、入学式の日に入学生全員に配られる予定です。





新十津川中学校



新十津川小学校



新十津川農業高校

### 3 1 学び舎に別れ 13,19 小中高校で卒業式

春を迎えて、町内の3校で卒業式が行われました。

1日の新十津川農業高校卒業式では、前農生会長の岡部友弥くんが「本校の卒業生であることに誇りと自信を持ち、困難を乗り越えて行きます」と力強く答辞を読み上げました。

また、13日の新十津川中学校卒業式では、熊澤定男教育委員長が「若さは武器になります。若い頭脳と若い身体には、無限の可能性があります」と、19日の新十津川小学校卒業式では酒井雅彦校長が「実感、感動、感謝の3つの感を大切にしてください」と卒業生にエールを贈りました。

### 3 10 絵を描く魅力に触れて

美術協会が、9日から11日までの3日間、改善センターで町民絵画教室を開き、中日のこの日は2人の参加者が水彩画に挑戦しました。

絵画教室は、絵を描く魅力を少しでも多くの方に知ってもらおうと、美術協会が毎年3月に行っている行事です。

初日から足を運んでいるという女性は「絵を見るのが大好きで、絵画展はいつも見に来ています。老後の楽しみと思って、描く方にも飛び込んでみました」と話していました。



### 3 26 出前講座で防火意識高める

橋本区自治会館で住宅用火災警報器と消火訓練のレインボー講座（出前講座）が開催され、橋本区民16人とみどり区民5人の計21人が受講しました。

初めに開催計画を立てたのは橋本区。消防団第3分団を構成するみどり区にも声を掛け、一緒に受講することにまとまりました。

受講者からは「火災警報器はどこに取り付ければよいのか」「値段はどれくらいするのか」などの質問が出され、消防新十津川支署の吉田消防士が1つ1つ丁寧に答えていました。

